

## 教材4-A-(4)の解答

### 度数分布表

① 『相対度数』の解決のために

○ 相対度数とは、

「その階級の度数の、資料全体の個数（各階級の度数の合計）に対する割合」であり、

$$\text{（相対度数）} = \frac{\text{その階級の度数}}{\text{資料全体の個数}} \text{ で求められる。}$$

【表】 2年2組の生徒の得点

階級(点)	度数(人)
以上 未満	
0～5	2
5～10	3
10～15	7
15～20	5
20～25	6
25～30	2
合計	25

右上の表で「13点」という得点の生徒が入る階級は

10 点以上 15 点未満

の階級で、この階級の度数は 7 人です。

よって、

相対度数は  $\frac{7}{25} =$  0.28 となる。

○ 相対度数は、全体が異なるいくつかの資料を比べるときは、大変便利である。

### たしかめよう

右上の【表】 2年2組の生徒の得点について、次の得点の生徒が入る階級の相対度数を求めなさい。

(1) 27点

25点以上30点以下の階級に入るなのでその度数は6

0.08

よって  $6 \div 25 = 0.08$

(2) 20点

「以上、未満」に注意して、どの階級に入るかを確認しましょう。

20点以上25点以下の階級に入るなのでその度数は6

0.24

よって  $6 \div 25 = 0.24$